がめつきってなあに？

R8年10月14日(水)
ゆり組

今日は子どもたちと『がめつき』の活動を行いました。がめつきとは、蓮代寺に昔から伝わっている郷土芸能で、田んぼの土や用水の土手を固めるための苦労を、歌や動作で表現したものです。子どもたちには少し難しい話ですが、紙芝居や去年のゆり組がしている動画を見ると「見たことあるかも！」と話していましたよ。





「土にお水を入れるだけじゃ水がたまらないけど、叩くと土が固まっていいんだね」と話す姿がありましたよ。





動画を見ると、「触ってみたい！」「高く上げたい！」との声がたくさん聞かれたので、本物のがめに触ってみました！



よいとこさ～！
やいとこさ～！



がめつき音頭

①はあーやーえー
かめのこもーひきゃあー らくそにみえて
よーい こんなーつらいこと
さあー ひとしらずー
えーさーよなさー
ほいとこさー やいとこさー
ほいとこさー やいとこさー
ほいとこさー やいとこさー
（もうひとつ） やいとこさー

②はあーやーえー
ここはてんかのー あたかのせきしょー
よーい かさをーぬがんせー
さあー たびのひとー
えーさーよなさー
ほいとこさー やいとこさー
ほいとこさー やいとこさー
ほいとこさー やいとこさー
（もうひとつ） やいとこさー

実際に使う“がめ”を見た子どもたちは「やってみたい！」「こうするんかな？」と興味津々です。初めてがめを持って行いましたが、どの子も元気いっぱいに上下に手を振って取り組んでいましたよ。特に「よいとこさー」の掛け声の部分はすぐに覚えたようで、保育者と一緒に歌う姿もありましたよ。がめつきを通じてみんなで力を合わせて表現することを楽しみたいと思います。